

様式 1 (仕様書第 7-3)

モニタリング総合評価表(令和 6 年度)

1 施設名

安平町ときわキャンプ場

2 施設の概要

設置目的	地域の活性化を目指し、町民の健康増進とレクリエーション、観光振興を図るために設置
面積	31.4ha
主な施設	・管理棟、倉庫、案内看板、掲示板、照明、ごみ置場、炭捨て場 ・駐車場、トイレ、合併浄化槽 ・テントサイト、バンガロー、ツリーハウス ・野外炉、炊事棟 ・アスレチック遊具、ローラー滑り台、四阿 ・健康の森、ライオンズの森
開設期間	4 月 27 日から 10 月 31 日まで(休場日:11月1日から翌年4月28日まで)
利用時間	・フリーテントサイト、手ぶらキャンプ、バンガロー、ツリーハウス、キャンピングカー(駐車場内)は午後1時から翌日午前11時まで ・BBQ コーナーは午前10時から午後8時まで(1日連続4時間まで)

3 現指定管理者前の管理運営状況

期間	管理形態	管理受託者又は指定管理者等
平成 29 年度	業務委託	瀧本産業株式会社
平成 30 年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和 2 年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和 3 年度	業務委託	瀧本産業株式会社
令和 4 年度	業務委託	瀧本産業株式会社

4 報告年度の指定管理者等

指定管理者	指定期間
あびらアウトドアフィールド共同事業体	令和 5 年 4 月 1 日から令和 10 年 3 月 31 日まで

5 指定管理料(決算ベース)

令和 6 年度 (A)	令和 5 年度 (B)	差 (A)-(B)	増減理由
14,973 千円	14,973 千円	0 千円	

6 指定管理者が行う業務

- 1 キャンプ場の利用に関する業務
- 2 施設及び設備の維持管理に関する業務
- 3 キャンプ場の管理運営に関して町長が必要と認める業務

7 利用実績等

(1) 利用実績

(単位:人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	238	1171	1319	2024	4701	2196	1614	0	0	0	0	0	13263
令和5年度(B)	130	1330	1016	2243	3457	1803	716	0	0	0	0	0	10695
(A)/(B)	183.0%	88.05%	129.8%	90.2%	135.9%	121.8%	225.4%	0%	0%	0%	0%	0%	124.0%
増減要因等	4月:3連休により増加 8月:オートサイトオープン、恵庭幼稚園親子キャンプにより増加 9月:オートサイトオープンにより増加 10月:BA(e)FUN FES 2024、早来学園炊事遠足により増加												

(2) 利用料金収入

(単位:千円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和6年度(A)	264	1,131	1,395	2,080	4,720	2,193	845						12,628
令和5年度(B)	165	1,365	940	2,310	3,540	1,808	805						10,933
(A)/(B)	160%	83%	148%	90%	133%	121%	105%	%	%	%	%	%	116%
増減要因等	連休、好天、オートサイトオープン等による要因により増加。												

(3) 利用料金見直しの状況

見直しの有無	見直した場合はその内容
無	

(4) 開設期間・時間の見直し等の状況(前年度と比べて)

見直しの有無	見直した場合はその内容
有	2024年度のみGW期間に合わせてオープン日を4月27日に変更。

(5) サービス向上のため実施した内容

・子供向けのアウトドア体験コーナーの常設(土日祝日等の繁忙日のみ) スラックラインなどのアウトドアアクティビティ体験、薪割・マシュマロ焼き体験の実施。 ・情報発信の強化 各メディアにて情報発信頻度を強化。 ↳公式HPの新規作成 ↳SNS、Googleマップ、なっぷ等の既存メディア ・飲食物の販売 夏季の繁忙日に生ビール、かき氷、お絵描きせんべいを販売。 ・野菜/わたあめ販売 安平町産野菜を主とした野菜販売を行っている町内事業者への販売場所提供。 ・繁忙期の整理券配布 整理券を配布することでチェックイン時間より前の長時間の待ち時間を解消。

(6) その他実施した取り組み内容

・「ういきゃん。」の実施 安平町を拠点にファミリー・初心者向けに活動を行う『野窓』が開催する、ファミリー向けキャンプイベントへの場所提供。及び、アウトドア体験のコンテンツ提供。
--

参加者数:25 名
・岩見沢教育大学キャンプ教室 岩見沢教育大学の学生向けに宿泊を伴うキャンプ教室を実施。 参加者数:17 名 ・教育フォーラム懇親会 安平町で開催された教育フォーラムへの場所提供。 参加者数:87 名 ・恵庭幼稚園親子キャンプ 恵庭幼稚園が行う親子キャンプへの場所提供 参加者数:146 名 ・BA(e)FUN FES 2024 サウナ体験や町内事業者による飲食店の出店が行われた BA(e)FUN FES 2024 の共催および場所提供。 参加者数:595 名 ・早来学園炊事遠足の実施 炊事遠足の場所提供および、焚火教室の実施。 参加者数:350 名 ・安平町で開催されるイベントへの参加 各種イベントに参加し、ときわキャンプ場の PR 活動を実施。 ↳菜の花フェス 2024 ↳D51 STATION CAMP FAIR2024 ↳あびら夏！うまかまつり ↳アビーウィンターフェス 2025 ・あびらチャンネルでの動画投稿 あびらチャンネルにて動画を放送し、安平町内および YouTube にて情報発信を強化。 ・Chiffoon.の宣伝 安平町にて米粉シフォンを販売している『Chiffoon.』がオープンする際に PR の場を提供。 ・安平うどんのクラウドファンディングへの出資 出資のリターンとして安平うどん店内に『ときわキャンプ場』の名札を掲示いただき PR に繋げた。

(7)
利用者の主な声及びその対応状況

①「消灯時間を守らない宿泊者がいる」事に対し夜間巡回にて声がけを実施 ②「受付前の場所取りを行う宿泊者がいる」事に対し注意看板の設置、場内アナウンスや声がけを実施 ③「受付前のリヤカー確保を行う宿泊者がいる」事に対し注意看板の設置、場内アナウンスや声がけを実施 ④「町内の特産品を購入できるとうれしい」という声に対しクラフトビールや野菜販売を実施 ⑤「薪を現地で購入したい」という声に対し薪の販売を実施 ⑥「チェックインの待ち時間が長い」という声に対し - i)キャッシュレス決済導入、オンライン決済導入、受付時の記入事項の簡易化にて受付時間の短縮を図った - ii)区画サイトを導入し、受付時間の分散化を図った - iii)整理券を配布しチェックイン時間より前の長時間の待ち時間を解消 ⑦「自動販売機の売り切れが多い」に対し、事業者を変更し在庫の補充頻度を高くすることで解消
--

8
管理運営状況（実施状況及びそれに対する評価を記入）

項目	指定管理者	町	評価
----	-------	---	----

施設の目的に沿った管理運営	協定書、仕様書、管理計画書に基づいた管理運営を行った。 地域の活性化や観光振興という点では、安平町の事業者等と連携し特産品の販売や新店舗オープンの際のフライヤー配布等の告知を実施。 イベントを実施し地域事業者の出店機会を創出。 早来学園と連携し炊事遠足を開催し、管理人による焚火教室を実施。	おおむね協定書、仕様書及び管理計画書に基づいた管理運営を実現したと認められる。 特産品の販売等、地域の支援となる事業には今後も積極的に取り組んでいただきたい。	B
平等な利用の確保	オンライン以外の予約を承れるよう電話での予約受付を継続して行った。	平等な利用を確保できるよう努めていると認められる。	A
利用者サービス向上の取組	整理券を配布しチェックイン時間より前の長時間の待ち時間を解消。 繁忙日に子供向けのアウトドアアクティビティ体験を実施し、利用者の思い出づくりを行なった。	サービス向上に向けて、創意工夫し努めていると認められる。	A
自主事業	薪やステッカーの販売、協力事業者とのイベント開催。 認知度向上のため「うまかまつり」等町内イベントへの参加、あびらチャンネルへの動画投稿を実施。 生ビール、かき氷等の飲食物の販売を実施。	多彩な自主事業が実施されている。 次年度以降も継続し、さらなるサービスの提供を目指していただきたい。	A
職員・管理体制	常勤職員5名、非常勤職員4名、繁忙期には本部から1～2名ほど職員を派遣。 基本的な対応やイレギュラーな事象が発生した際の相談等は問題無く対応できている。 今後、更なるサービスやホスピタリティ向上のための研修や、属人化している業務のマニュアル化を行う予定。	おおむね仕様書及び管理計画書に基づく職員配置が行われており、繁忙期やイレギュラーな事象には柔軟に対応している。	B
収支状況	最終的な決算において 2,585 千円黒字化出来た。自主事業においては 380 千円の売上となった。今後年間を通じた営業を検討していきたい。	オートサイトプレオープンの影響もあり、大きく収入が増加している。	A
総合評価	子供向けのアクティビティ体験を充実させることで「子供が楽しめるキャンプ場」として認知を広めることができた。 オートサイトオープンにより、新しい客層をターゲットにすることができた。 生ビールやかき氷等の飲食物の販売により自主事業による売上拡大の目処を立てることができた。 より魅力的なキャンプ場として認知、サービスの向上、町内事業者との連携を深めるなど、更に向上が可能な部分はある。また、自主事業実施による収益向上の余地はあるので町と連携を取りながら進めていく。	おおむね仕様書等の内容どおり成果があり、適正な管理運営が行われている。	B

<評価区分> A:仕様書等の内容を上回る成果があり、優れた管理運営が行われている。
 B:おおむね仕様書等の内容どおりの成果があり、適正な管理運営が行われている。
 C:仕様書等の内容を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要である。
 D:仕様書等の内容に対し、重大な不適切な事項が認められ改善を要する。

9 施設管理運営の課題

項目	指定管理者	町
施設の管理運営の課題	利用者満足度位向上を目的とし物販エリアやシャワー室追加等の管理棟の改築が必要。 冬季間の営業についても、トイレや炊事場が冬季間使用できないなどの問題もある。 また、区画内や斜面の陥没が見られるため地盤の補強等の対策が必要。	実態を踏まえて計画的に対応していきたい。 本キャンプ場にある課題を理解し、町と指定管理者の連携を強めて、サービス向上に努めたい。